

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類 信 託 期 間	追加型投信／海外／株式 無期限 (2013年5月13日設定)
運 用 方 針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・主として新興国の株式市場の値動きに連動する投資対象ファンドを複数組合せることにより、信託財産の中長期的な成長をめざします。</li> <li>・参考指標は、FTSE・エマージング・インデックス (円換算ベース) とします。(2019年5月13日現在)</li> <li>・市場の変動により、投資対象ファンドの組入比率が基本投資割合から乖離した場合は、原則として3カ月に1回、基本投資割合へ戻す調整を行います。</li> <li>・基本投資割合の見直しについては、投資対象ファンドの経費率、パフォーマンス、参考指標との連動性、流動性等を考慮して、原則として1年に1回行います。</li> <li>・当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式で運用を行い、実質的な運用は投資信託証券への投資を通じて行います。</li> <li>・当ファンドの運用にあたっては、「モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社」の投資助言を受けます。</li> </ul>
主 要 運 用 対 象	主としてETF (上場投資信託) への投資を通じて、新興国の株式へ実質的に投資します。
組 入 制 限	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。
分 配 方 針	毎決算時 (年1回毎年5月12日。休業日の場合は翌営業日とします。) に、分配方針に基づき分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の利子・配当等収益と売買益 (評価益を含みます。) 等の全額とし、委託会社が基準価額水準、市場動向等を勘案して収益分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合は、分配を行わない場合があります。

# 運用報告書 (全体版)

第6期

(決算日 2019年5月13日)

## EXE-i 新興国株式 ファンド

追加型投信／海外／株式

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、「EXE-i 新興国株式ファンド」は、2019年5月13日に第6期決算を行いました。ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

 SBI Asset Management

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1-6-1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9:00~17:00

URL : <http://www.sbiam.co.jp/>

EXE-i 専用Webサイト

URL : <http://www.sbiam.co.jp/EXE-i/>

EXE-i Facebookページ

URL : <https://www.facebook.com/sbiamexei/>

## ○最近5期の運用実績

決算期	基準価額			参考指標		投資信託証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率	期中 騰落率	期中 騰落率		
	円	円	%		%	%	百万円
2期(2015年5月12日)	12,137	0	25.3	12,417	28.4	100.5	2,224
3期(2016年5月12日)	8,760	0	△ 27.8	8,949	△ 27.9	98.9	2,783
4期(2017年5月12日)	11,470	0	30.9	11,825	32.1	99.5	5,327
5期(2018年5月14日)	12,718	0	10.9	13,289	12.4	99.4	8,457
6期(2019年5月13日)	11,901	0	△ 6.4	12,538	△ 5.7	99.5	9,154

(注1) 参考指標はFTSE・エマージング・インデックス(米ドルベース)をもとに委託会社で円換算しています。

(注2) 参考指標の騰落率は、ETF購入後の2013年5月14日の値から計算しています。

(注3) 参考指標は設定日の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指標		投資信託証券 組入比率
	騰落率	騰落率	騰落率	騰落率	
(期首) 2018年5月14日	円	%		%	%
	12,718	—	13,289	—	99.4
5月末	12,193	△ 4.1	12,630	△ 5.0	99.9
6月末	11,659	△ 8.3	12,160	△ 8.5	99.6
7月末	12,345	△ 2.9	12,946	△ 2.6	99.4
8月末	11,838	△ 6.9	12,521	△ 5.8	99.5
9月末	12,159	△ 4.4	12,726	△ 4.2	99.8
10月末	11,012	△ 13.4	11,455	△ 13.8	99.5
11月末	11,708	△ 7.9	12,241	△ 7.9	99.5
12月末	11,005	△ 13.5	11,473	△ 13.7	99.6
2019年1月末	11,775	△ 7.4	12,199	△ 8.2	99.5
2月末	12,118	△ 4.7	12,753	△ 4.0	100.0
3月末	12,054	△ 5.2	12,700	△ 4.4	99.6
4月末	12,559	△ 1.3	13,231	△ 0.4	99.8
(期末) 2019年5月13日					
	11,901	△ 6.4	12,538	△ 5.7	99.5

(注1) 騰落率は期首比です。

(注2) 参考指標はFTSE・エマージング・インデックス(米ドルベース)をもとに委託会社で円換算しています。

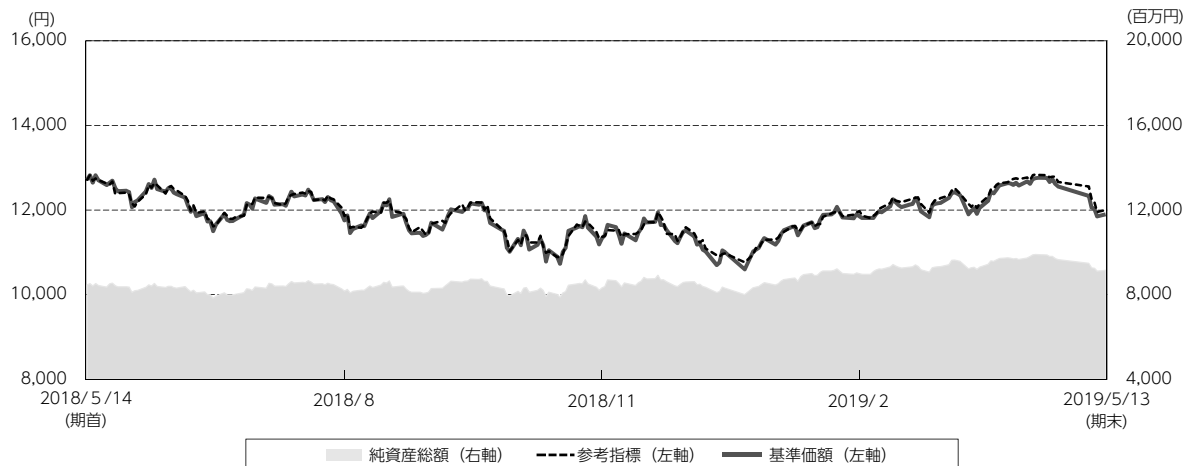
(注3) 参考指標の騰落率は、ETF購入後の2013年5月14日の値から計算しています。

参考指標：「FTSE・エマージング・インデックス」

FTSE・エマージング・インデックスとは、FTSE社が開発した指数で新興国株式市場全体の動きを表す株価指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はFTSE社に帰属します。また、FTSE社は、同指数の内容を変更する権利及び公表を停止する権利を有しています。当ファンドでは、同指数を委託会社が円換算し参考指標としています。

## ■当期の運用状況と今後の運用方針（2018年5月15日から2019年5月13日まで）

### ○基準価額等の推移



期 首： 12,718円

期 末： 11,901円 (既払分配金 (税込み)：0円)

騰落率： △6.4%

(注1) 参考指標はFTSE・エマージング・インデックス (米ドルベース) をもとに委託会社で円換算しています。詳細はP1をご参照ください。

(注2) 参考指標は、2018年5月14日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しております。

(注3) 当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載しておりません。

### ○基準価額の主な変動要因

#### 上昇要因

米中通商問題の進展期待や米国の利上げペースの鈍化観測、外国為替相場における円安進行などが上昇要因となりました。

#### 下落要因

米中通商問題による景気への影響懸念や米長期金利の上昇、新興国通貨の減価、外国為替相場における円高進行などが下落要因となりました。

## ○投資環境

---

### <新興国株式市場>

新興国株式市場は、期首から軟調な展開が続きました。米中通商問題では中国景気への悪影響に対する懸念が根強く、米長期金利の上昇等を背景に投資家が投資マネーを引き上げる動きが続きました。一方、インドでは高い経済成長率を維持しており、企業業績の拡大により株価が上昇し、2018年8月には同国の代表的な株価指数であるSENSEX指数が史上最高値を更新するなど、堅調に推移しました。

しかし、その後は通貨トルコリラの下落が急速に進み、その波及により新興国通貨が軒並み減価し、株式市場も調整局面を迎えました。年末に米国株式市場が急落した局面においては、世界景気の減速懸念から新興国株式市場も調整局面を迎えました。

年明け以降は、米国の金融政策が柔軟に調整され、利上げペースが緩やかになるとの観測から新興国株式市場にも資金が流入する動きが広がり、4月にかけて上昇基調に転じました。しかしながら、期末には米国が中国に対して追加関税を発動したことを受けて、軟調な展開となりました。

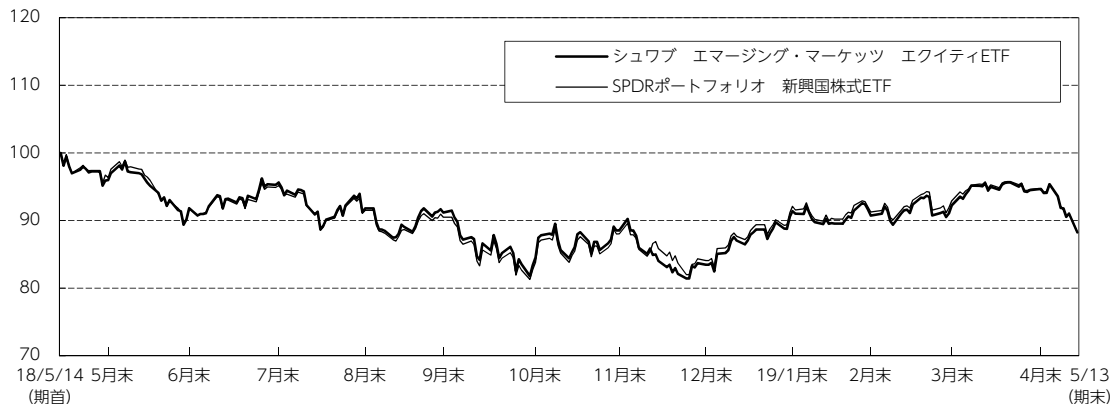
### <為替>

ドル/円相場は、期首109円台前半でスタートした後、一進一退を繰り返しながら年末にかけて円安・ドル高が進行しました。米中通商問題に対する懸念の高まりや、米朝首脳会談の延期、中国高官による人民元安への口先介入などにより円高・ドル安方向に動く局面もみられたものの、北朝鮮の地政学リスクの後退、良好な米国経済指標の発表、米国の中間選挙が事前の予想通りとなったことなどを背景に、ドル買いが優勢となり114円台まで円安が進行しました。

しかしながら、その後は米連邦準備制度理事会（FRB）による利上げ観測の後退とともに、米連邦公開市場委員会(FOMC)による2019年の利上げ見通しが年2回に引き下げられたことでドル売りが優勢となりました。また、世界的な株安進行と米国政府機関の一部閉鎖により円高・ドル安が続き、109円半ばの水準まで円高が進行しました。

年始には円が急騰したものの、その後はパウエルFRB議長の発言により、円安が進行する展開となりました。ドル/円相場が110円台まで水準を戻すと、中国の貿易統計やFRBによる金融政策動向を背景に、109円～112円の比較的広いレンジで推移しました。

## <組入投資信託証券の推移>



出所：Bloombergのデータを基にSBIアセットマネジメントが作成

(注1) 期首を100として指数化しています。

(注2) 2019年2月より投資対象ファンドを以下のとおり変更しております。

(変更前)

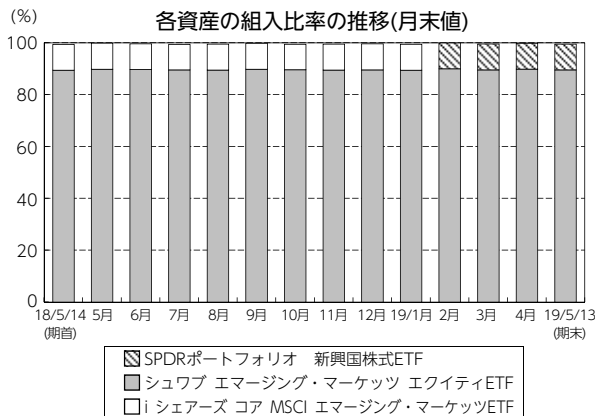
- ・シュワブ エマージング・マーケットズ エクイティETF
- ・i シェアーズ コア MSCI エマージング・マーケットズETF

(変更後)

- ・シュワブ エマージング・マーケットズ エクイティETF
- ・SPDRポートフォリオ 新興国株式ETF

(注3) 期末時点の各資産の詳細につきましては、最終ページの<ご参考>組入投資信託証券の概要をご覧ください。

## ○当ファンドのポートフォリオ



モーニングスター・アセット・マネジメントの投資助言に基づいた基本投資割合に従い、ETF（上場投資信託）への投資を通じて、新興国の株式へ実質的に投資を行いました。投資比率の合計は95%以上の高位を保ちました。

なお、2019年2月より当ファンドの投資対象ファンドを以下のとおり変更いたしました。

(変更前)

- ・シュワブ エマージング・マーケットズ エクイティETF
- ・i シェアーズ コア MSCI エマージング・マーケットズETF

(変更後)

- ・シュワブ エマージング・マーケットズ エクイティETF
- ・SPDRポートフォリオ 新興国株式ETF

(注) 各資産の詳細につきましては、最終ページの<ご参考>組入投資信託証券の概要をご覧ください。

**【組入投資信託証券の資産構成比率】**

	組入上位10カ国・地域	構成比率
1	中国	30.16%
2	台湾	12.85%
3	インド	11.62%
4	ブラジル	8.46%
5	南アフリカ	7.29%
6	ロシア	4.28%
7	香港	4.15%
8	タイ	3.49%
9	メキシコ	3.31%
10	マレーシア	2.87%

	組入上位10業種	構成比率
1	金融	26.27%
2	一般消費財・サービス	13.27%
3	コミュニケーション・サービス	12.90%
4	情報技術	10.42%
5	エネルギー	8.95%
6	素材	7.65%
7	生活必需品	6.09%
8	資本財・サービス	5.42%
9	不動産	3.54%
10	公益事業	2.95%

	組入上位10銘柄	国	構成比率
1	TENCENT HOLDINGS LTD	中国	5.67%
2	ALIBABA GROUP HOLDING	中国	4.61%
3	TAIWAN SEMICONDUCTOR MANUFACTURING	台湾	4.02%
4	NASPERS LTD-N SHS	南アフリカ	2.26%
5	CHINA CONSTRUCTION BANK-H	中国	1.64%
6	RELIANCE INDUSTRIES LIMITED	インド	1.25%
7	PING AN INSURANCE GROUP CO LTD	中国	1.21%
8	IND & COMM BK OF CHINA-H	中国	1.21%
9	CHINA MOBILE LTD	中国	1.05%
10	HDFC BANK	インド	1.00%

出所：Bloombergのデータを基にSBIアセットマネジメント作成

(注1) 2019年4月26日時点の比率です。

(注2) 当ファンドが投資する投資信託証券（ETF）の組入比率に基づき、加重平均して算出した値です。

(注3) 投資信託証券を通じて投資する株式の評価額合計に対する比率です。

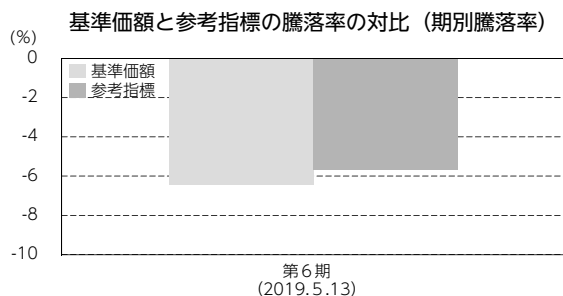
**【組入投資信託証券の騰落率】**

投資信託証券の名称	投資対象	通貨	当期の騰落率
シュワブ エマージング・マーケットズ エクイティETF	新興国の株式	米ドル	△11.7%
SPDRポートフォリオ 新興国株式ETF	新興国の株式	米ドル	△11.7%

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

右記のグラフは、基準価額と参考指標の騰落率の対比です。



(注) 参考指標はFTSE・エマージング・インデックス（円換算ベース）を使用しています。  
詳細はP1をご参照ください。

## ○分配金

当期は基準価額等を勘案した結果、収益分配は行わないことといたしました。

なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### 分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第6期
	2018年5月15日～ 2019年5月13日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	—%
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	4,342

(注1) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ○今後の運用方針

主としてETF（上場投資信託）への投資を通じて、新興国の株式へ実質的に投資し、新興国の株式市場の値動きと同等の投資成果をめざします。当ファンドの運用にあたっては、モーニングスター・アセット・マネジメントの投資助言を受け、原則として年1回基本投資割合の見直しを行います。

## ○1万口当たりの費用明細

(2018年5月15日～2019年5月13日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社)  (受託会社)	29 (13) (13)  (4)	0.248 (0.108) (0.108)  (0.032)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料  (投資信託証券)	2  (2)	0.021  (0.021)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) 有価証券取引税  (投資信託証券)	0  (0)	0.000  (0.000)	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(d) その他費用 (保管費用)  (監査費用) (その他)	2 (1)  (0) (0)	0.014 (0.011)  (0.002) (0.000)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託事務の処理等に要するその他費用
合 計	33	0.283	
期中の平均基準価額は、11,868円です。			

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く。)が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## ○売買及び取引の状況

(2018年5月15日～2019年5月13日)

### 投資信託証券

銘 柄			買 付		売 付	
			口 数	金 額	口 数	金 額
外国	アメリカ	SPDR PORTFOLIO S&P EMERGING MARKETS ETF	242,685	8,495	5,725	206
		SCHWAB EMERGING MARKETS EQUI	567,462	14,336	123,075	3,191
		ISHARES CORE MSCI EMERGING	30,550	1,547	164,702	8,391

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切捨て。



## ○利害関係人との取引状況等

(2018年5月15日～2019年5月13日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ○組入資産の明細

(2019年5月13日現在)

### 外国投資信託証券

銘柄名	当 期 末			比 率
	口 数	評 価 額		
		外貨建金額	円換算金額	
(アメリカ)	口	千ドル	千円	%
SPDR PORTFOLIO S&P EMERGING MARKETS ETF	236,960	8,300	910,919	10.0
Schwab Emerging Markets Equi	2,911,183	74,730	8,200,877	89.6
ISHARES CORE MSCI EMERGING	—	—	—	—
合 計	3,148,143	83,030	9,111,797	99.5

(注1) 円換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。

(注2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2019年5月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投資信託受益証券	千円 9,111,797	% 99.2
コール・ローン等、その他	69,231	0.8
投資信託財産総額	9,181,028	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 当期末における外貨建て純資産 (9,139,295千円) の投資信託財産総額 (9,181,028千円) に対する比率は99.5%です。

(注3) 外貨建て資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。なお、5月13日における円換算レートは、1ドル=109.74円です。

## ○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2019年5月13日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	9,208,403,612円
コール・ローン等	38,572,672
投資信託受益証券(評価額)	9,111,797,403
未 収 入 金	58,033,537
(B)負 債	53,656,078
未 払 金	30,654,197
未 払 解 約 金	11,831,020
未 払 信 託 報 酬	11,061,963
未 払 利 息	105
そ の 他 未 払 費 用	108,793
(C)純 資 産 総 額(A - B)	9,154,747,534
元 本	7,692,135,594
次 期 繰 越 損 益 金	1,462,611,940
(D)受 益 権 総 口 数	7,692,135,594口
1 万 口 当 ち 基 準 価 額 (C / D)	11,901円

<注記事項(運用報告書作成時には監査未了)>  
(貸借対照表関係)

期首元本額	6,650,310,019円
期中追加設定元本額	2,673,634,703円
期中一部解約元本額	1,631,809,128円

## ○損益の状況 (2018年5月15日～2019年5月13日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	175,228,209円
受 取 配 当 金	198,973,896
受 取 利 息	67,385
支 払 利 息	△ 23,813,072
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△ 583,547,140
売 買 益	124,711,659
売 買 損	△ 708,258,799
(C)信 託 報 酬 等	△ 22,670,883
(D)当 期 損 益 金 (A + B + C)	△ 430,989,814
(E)前 期 繰 越 損 益 金	794,709,772
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	1,098,891,982
( 配 当 等 相 当 額 )	( 2,392,696,049)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△ 1,293,804,067)
(G) 計 (D + E + F)	1,462,611,940
(H)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G + H)	1,462,611,940
追 加 信 託 差 損 益 金	1,098,891,982
( 配 当 等 相 当 額 )	( 2,392,696,049)
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(△ 1,293,804,067)
分 配 準 備 積 立 金	947,267,098
繰 越 損 益 金	△ 583,547,140

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(152,557,326円)、費用控除後の有価証券等損益額(0円)、信託約款に規定する収益調整金(2,392,696,049円)および分配準備積立金(794,709,772円)より分配対象収益は3,339,963,147円(10,000口当たり4,342円)ですが、当期に分配した金額はありません。

〈ご参考〉組入投資信託証券の概要

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
シュワブ エマージング・マーケット エクイティETF	新興国の株式	FTSE・エマージング・インデックス	0.13%	Charles Schwab & Co., Inc.

組入上位10銘柄	比率
Tencent Holdings Ltd.	5.56%
Alibaba Group Holding Ltd. Sponsored ADR	4.67%
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd.	4.06%
Naspers Limited Class N	2.09%
China Construction Bank Corporation Class H	1.63%
Reliance Industries Limited	1.30%
Industrial and Commercial Bank of China Limited Class H	1.22%
Ping An Insurance (Group) Company of China, Ltd. Class H	1.19%
China Mobile Limited	1.15%
Housing Development Finance Corporation Limited	1.04%

組入上位業種	比率
金融	26.3%
一般消費財・サービス	13.0%
コミュニケーション・サービス	12.9%
情報技術	10.1%
エネルギー	9.2%
素材	7.9%
生活必需品	6.0%
資本財・サービス	5.4%
不動産	3.6%
公共事業	3.1%

出所： Charles Schwab & Co., Inc.の資料を基にSBIアセットマネジメントが作成

(注) 2019年3月31日時点の比率です。

投資信託証券の名称	投資対象	連動する指数	経費率(年率)	委託会社
SPDRポートフォリオ新興国株式ETF	新興国の株式	S&P エマージング・ブロード・マーケット・インデックス	0.11%	State Street Global Advisors

組入上位10銘柄	比率
Tencent Holdings Ltd.	4.6%
Alibaba Group Holding Ltd. Sponsored ADR	4.1%
Taiwan Semiconductor Manufacturing Co. Ltd.	2.4%
Naspers Limited Class N	1.9%
China Construction Bank Corporation Class H	1.7%
Industrial and Commercial Bank of China Limited Class H	1.1%
China Mobile Limited	1.1%
Ping An Insurance (Group) Company of China Ltd. Class H	1.1%
HDFC Bank Limited	1.1%
Housing Development Finance Corporation Limited	1.1%

組入上位業種	比率
金融	25.8%
一般消費財・サービス	13.6%
コミュニケーション・サービス	11.4%
情報技術	10.8%
エネルギー	8.3%
素材	7.3%
生活必需品	6.4%
資本財・サービス	6.1%
不動産	3.8%
ヘルスケア	2.8%

出所： State Street Global Advisorsの資料を基にSBIアセットマネジメントが作成

(注) 2019年3月31日時点の比率です。

上記組入投資信託証券は第6期期末時点のものであり、将来変更される場合があります。